

minato

2025.07 No.

81

新潟臨港病院・新潟万代病院 | 地域医療福祉連携機関向け広報誌『みなど』



Take Free (ご自由にお持ちください)

私たち新潟臨港保健会は、医療を通じて地域の皆様が安心して安全に暮らせる社会づくりに貢献します

社会医療法人 新潟臨港保健会

地域包括ケアシステム インタビュー特集

第4弾

地域医療を 共に作る!

特定分野において専門的な知識と技術を持ち、優れた看護実践やスタッフへの指導などを行う認定看護師。今回は新潟臨港病院に在籍する5名の認定看護師が、日々の活動や地域の患者さんへの想いを語り合いました。

——認定看護師を目指したきっかけは？ また、認定看護師としてどんな活動をしていますか？

中川 がん治療を受ける患者さんの懸命な姿を目の当たりにして、もっと自分にできることがあるのではないかと強く感じ、認定看護師を目指そうと思いました。大切にしているのは、薬物療法や副作用に関する専門知識を生かし、患者さんが生活の質を維持しながら安心して治療を継続できるよう支援すること。看護職者への指導や相談対応もしながら、チーム全体の看護の質の向上を目指しています。

加藤 私は10年ぐらい前に呼吸器疾患の終末期の患者さんを受け持たせていただいたことがきっかけです。その方は鼻腔が狭いこともあり痰の吸引がうまくいかなくて、気管切開（気道を確保するために喉を切開すること）をご家族から提案されたんです。でもその時すでにご本人は自分の意思を話すことができない状態で…。人生の最期、患者さんの気持ち

や望みをできるだけ早い段階からご家族と一緒に受け止めたいと思い、緩和ケアを専門的に学ぶことを決めました。現在は現場スタッフから依頼を受けて、患者さんやご家族が抱える苦痛について一緒に原因を探り、苦痛や症状を和らげる方法を見出し実践しています。終末期を自宅で過ごすことを望む患者さんもいますので、在宅訪問看護の看護師さんに同行することもありますね。

白杵 私は、認知症になると周りの人から「何もできない」と思われることが多いことに疑問があって、より深い知識を身につけるために認定看護師を目指しました。認知症というと介護施設などで過ごすイメージがあるかもしれませんが、他の病気の治療のために入院した方が認知症だった、というケースも多くあります。自宅から環境が変わると不安が強くなりやすいので、安心して治療を受けられるよう生活リズムなど環境の調整を心がけています。病院では認知症患者さんの増加に伴い、2年ほど前に認知症ケアサポートチームを立ち上

関しても泌尿器科で相談対応をしています。皮膚・排泄ケアは業務の幅が広いので、もっとスペシャリストが増えるといいなと思います。

——次世代の育成も重要ですね。認定看護師を目指す若い世代にどんなことを伝えたいですか？

細野 私が認定を取得する前は東京や神戸にしか学校がありませんでしたが、今は新潟で勉強できるので挑戦しやすいと思います。それに新潟臨港病院は、自分からやりたいと言えば挑戦させてもらいやすい環境。大きな病院だと認定看護師にチャレンジするにも院内審査があると聞いたりしますが、当院は職員への理解やバックアップ体制もしっかりしているので、ぜひ目指してほしいと思います。

白杵 認定看護師は、その分野に興味がないと難しいと思います。逆に少しでも興味があるならどんどん挑戦してほしいですね。私は東京で認定を取ったのですが、研修期間として



げました。週1回の病棟ラウンドをしたりと力を入れて取り組んでいるところです。

小川 内視鏡室の看護師として長く働いてきましたが、これまでのキャリアを生かして成長するには、感染管理の分野が一番合っていると思い認定看護師を目指しました。もともと病院は、病原体を保有する患者さんや免疫力の低下した患者さんがいて、手術や処置などの医療行為が行われる感染リスクの高い場所。感染者が出た際の初期対応も大事ですが、日頃の予防が何より重要です。また、感染対策は一部の人ができていけばいいのではなく、全員が正しくできないと意味がありません。毎週院内を回って感染対策の状況をチェックし、院内研修をして啓蒙を図っています。地域の高齢者施設や他の医療機関への助言や情報共有を通じて、地域全体の感染防止にも取り組んでいます。

細野 私は2009年に資格を取得したのですが、ちょうどその頃、新潟に認定看護師の学校ができたのが大きなきっかけでした。現在の業務としては、医師、看護師、理学療法士、管理栄養士、薬剤師がチームになり、褥瘡（床ずれ）のある患者さんの回診を行っています。オストミー（人工肛門）に関しては、消化器外科、消化器内科の医師と連携して術前・術後、その後の外来でも対応させていただいています。失禁に

病院から手厚くサポートしていただいていたのでありがたかったです。認定を取ったことで、認知症の人でも安心して来られる病院にしたいというビジョンがより明確になりました。

加藤 認定看護師は、患者さん、ご家族、スタッフを導くことのできるやりがいのある仕事です。新潟臨港病院は地域密着のアットホームな病院。スペシャリストでありながらも気軽に声をかけていただける認定看護師を目指したいですし、もっと数が増えるといいと思います。

——最後に、地域の方へメッセージをお願いします。

小川 患者さんは地域の医療機関や高齢者施設を歩き来しているので、感染対策は地域ぐるみで行う必要があります。新潟臨港病院はその中心となって地域の施設と連携して取り組んでいきますので、ぜひ安心して療養生活を送っていただけたらと思います。

中川 医療の場は、患者さんにとって不安や戸惑いを感じる場所だと思います。だからこそ私たち認定看護師がいますし、気軽に相談できる窓口でありたいと思っています。「新潟臨港病院で聞けば何とかなる」と頼っていただけるような存在として、また必要な支援につなぐ橋渡し役としても、地域の皆様に貢献していきたいと思っています。



感染管理認定看護師
感染管理対策室長

小川 陽市

Profile

2023年に資格取得。さまざまな感染症の院内感染の発生を防ぐ、もしくは最小限度にとどめるために対策を実行し、部門を横断して管理や指導を行う。

認知症看護認定看護師
看護師長

白杵 祐美

Profile

2022年に資格取得。認知症の患者さんに対する専門知識と技術を生かしたケア、意思決定支援、環境調整、ご家族へのサポートなどを行う。

皮膚・排泄ケア
認定看護師

細野 郁子

Profile

2009年に資格取得。皮膚の創傷(wound)、人工肛門(ostomy)、失禁ケア(continence)の3つを専門的にケア。「WOCナース」とも呼ばれる。

がん化学療法認定看護師
看護師長

中川 総子

Profile

2015年に資格取得。がん薬物治療を受ける患者さんご家族を包括的に理解しながら、治療の選択や生活の質についての意思決定を支える。

緩和ケア認定看護師
副看護師長

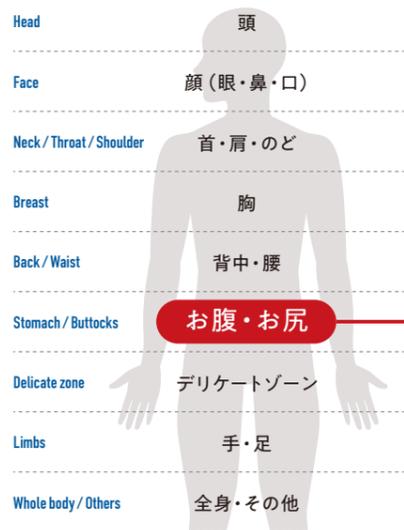
加藤 智美

Profile

2018年に資格取得。病気によって生じる身体的な苦痛、悩み、亡くなることへの不安など、患者さんが抱える苦難を看護ケアによって和らげる。

Dr's memo

【ドクターズメモ】



たんせきしょう 胆石症 (Cholelithiasis)

新潟臨港病院、新潟万代病院のホームページには『症状から診療科を選ぶ』ことができる専用ページがあります。各診療科の特徴、外来診療予定表、医師紹介が掲載されてますのでぜひご覧ください。

新潟臨港病院

新潟万代病院

地域のみなさんのお役に立てるように頑張ります。

新潟臨港病院 診療部長

窪田 智之

くぼた ともゆき

内科/消化器内科

所属学会・資格・認定等

日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・内科指導医/日本肝臓学会 専門医・指導医/日本消化器病学会 専門医/日本消化器内視鏡学会 専門医/日本がん治療認定医機構 がん治療認定医/診療情報管理士



胆石症 (Cholelithiasis) とは？

胆石症ってどんな病気ですか？

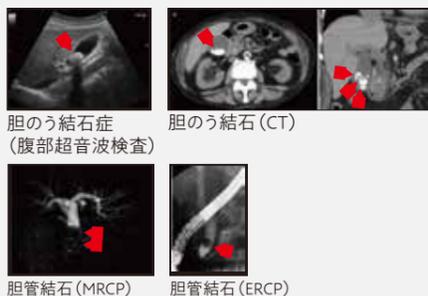
胆汁の流れ道の中に石ができる病気を、胆石症といいます。胆汁とは肝臓で作られる黄褐色の液体で、胆管という管を通過して十二指腸に流れます。胆管の途中に胆のうという袋があり、ここで胆汁が濃縮され、食物が十二指腸に入ってくると十二指腸に分泌され、食物中の脂肪分やビタミンの消化・吸収を助けます。この胆汁に含まれる成分が固まって胆石が形成されるのです。主にコレステロール石と色素石の2種類があります。胆石のできる部位によって、胆のう結石、総胆管結石、肝内結石に分けられます。胆石症の多くは胆のう結石で約80%を占め、総胆管結石は約20%、肝内結石は約2%の頻度です。日本人の胆石保有率は食生活の欧米化や高齢化などにより年々増加しているといわれています。また、胃切除後も胆石ができやすいといわれています。

胆のう結石が約80%と最も多い



胆石症ではどのような症状が起きますか？

胆石症では右の肋骨の下の部分やみぞおちの痛み(胆道痛といいます)がみられます。食後少しして症状が出ることも特徴です。胆石が胆汁の流れを妨げるような場所にある場合には、黄疸や皮膚のかゆみ、褐色の尿が出たりします。細菌が感染すると、高い熱が出ます。炎症が胆のうで起こると急性胆のう炎、胆管で起こると急性胆管炎と診断されます。適切な治療が行われないと、細菌を含んだ胆汁が血液中に逆流し、敗血症というきわめて重い病気を引き起こします。胆石症になっても、炎症がなければ胆嚢結石では8割の人が、また総胆管結石では2〜3割の人は自覚症状がありません。このような場合には無症状胆石と呼ばれます。



胆石症が疑われたら、どのような検査が必要ですか？

前述のような症状で受診された場合は、急性胆嚢炎や急性胆管炎を考慮して血液検査や画像検査が行われます。検査法としては、腹部超音波検査、CT検査、MRIによる胆管膵管造影法(MRCP)、内視鏡的逆行性胆管膵管造影法(ERCP)などがあり、患者さんの状態や疑われる胆石の存在部位などに応じて、苦痛の少ない検査を基本に決定されます。

胆石症(胆のう結石/総胆管結石/肝内結石)の治療について教えてください。

胆石症は結石のある場所によって治療法が異なります。

- 胆のう結石は無症状の場合には、胆のうにがんの合併のないことを超音波検査などで確認したうえで、治療を行わず定期的に経過観察することも可能です。何らかの症状がある場合には、手術による治療が原則です。胆のう結石では胆のうの結石だけを取り除いても再発してまた手術が必要となるため、胆石を作る胆のうが悪いという考え方で胆石といっしょに胆のうを取り除く手術を行います。現在では小さい傷口で手術後の痛みも少なく

て数日で退院できる、腹腔鏡下胆のう摘出術が広く行われています。胆のう炎を繰り返すなどして癒着のひどい場合、胆のうがんの合併が疑われる場合などは開腹手術となります。

- 総胆管結石は症状を示すことが多く重症となるリスクもあるため、診断された場合には原則的に治療が必要です。近年は内視鏡による結石除去を行うことが多いですが、外科手術になることもあります。総胆管結石の大きさや数、胆のう結石を合併しているかどうか、患者さんの状態や胃の手術歴などを考慮して決定されます。
- 肝内結石はがんの合併がなく症状も特にない場合には、様子を見ることもあります。肝内結石により肝臓が小さくなっていたり、胆汁の流れが悪くなっている場合には、外科手術や内視鏡治療が行われます。がんが合併する場合は肝臓の切除を検討します。

胆のうは取ってしまった大丈夫でしょうか？

胆のうを取ってしまった後は流れ道である胆管が胆汁の分泌機能を担うため、消化・吸収には影響がないとされています。下痢な

どの消化器症状がみられる場合がありますが、胆のうを取ったことにより起こる不都合よりも胆のう炎や胆石発作に悩まされなくなる、食事制限が不要になるなどのメリットの方が大きいとされ、胆のう結石に対しては手術で胆のうを取ってしまう治療がよいと考えられています。

胆石症を予防する方法はありますか？

胆石は生活習慣と密接に関連しており、肥満や糖尿病、脂質異常などに気をつけるようにしましょう。具体的には暴飲暴食を避け、適度の運動を行う、脂質の適量摂取、便秘の予防、規則正しい食生活、アルコール飲料や香辛料の過剰の摂取を避けるなどがあげられます。一方、胆石のリスクを減らす効果が期待されるものとして、魚油、野菜、ナッツ、植物性タンパク、適度のコーヒーなどがいわれています。胆石症と診断された場合には、上記の事項に留意し、胆道痛をきたす胆石発作を予防するように心がけましょう。



胆石予防のためにとりたい食材



- 食物繊維が多い食材
海藻類:こんぶ、ひじき、わかめ
果物:バナナ、いちご、りんご
野菜:ほうれん草、かぼちゃ、ブロッコリー
青魚:いわし、あじ、さば
- ビタミンCを多く含む食材
オレンジ、キウイ、いちご、みかん
カリフラワー、ブロッコリー、ほうれん草、かぼちゃ、さつまいも、ピーマン

胆石予防のために避けたい食材



- 高カロリー・高脂肪の食材
脂ののった動物性肉
- コレステロールを多く含む食材
肉や魚の内臓:レバーやあんきもなど
卵:鶏卵、イクラやタラコ

患者さんとご家族のための胆石症ガイド 2023 引用

消化器内科 市民公開講座のお知らせ

2025年10月18日(土)、日本消化器病学会甲信越支部による「市民公開講座」が開催されます。消化器疾患についての正しい知識と最新の医療情報を地域の皆さまにわかりやすくお伝えすることを目的に企画されました。

当日は、新潟臨港病院院長が司会を務め、講師として新潟臨港病院診療部長が登壇いたします。日常生活に密接に関わる消化器の病気について、予防や早期発見の重要性を、最新の知見を交えてわかりやすく解説いたします。

参加は無料で、どなたでもご参加いただけます。健康維持やご家族のケアに関心のある方にとって、学びの機会となる内容です。ご興味のある方はぜひご来場いただけますと幸いです。

**第87回 日本消化器病学会甲信越支部
市民公開講座**

入場無料
事前予約不要

**いま知っておいてほしい
お腹の病気**

日時 **2025年
10月18日(土) 13:30~15:30** (開場 13:00)

会場 **マルタケホール**
新潟県新潟市中央区東大通1-4-1 TEL: 025-250-6128
※駐車場のご利用はございませんので来場の際は可能な限り公共交通機関をご利用下さい

プログラム

司会 社会医療法人新潟臨港保健会新潟臨港病院 院長 **鈴木 裕**

副司会 新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野 教授 **寺井 崇二**

講演 新潟県立新潟病院 消化器内科 内科部長 **水野 研一** 「大腸がんは怖くない? 正しく知ること未来を守る」

講演 社会医療法人新潟臨港保健会新潟臨港病院 消化器内科 診療部長 **窪田 智之** 「健康診断で肝機能障害と言われたら」

講演 新潟県立がんセンター新潟病院 消化器内科 情報調査部長 **塩路 和彦** 「いま知っておいてほしい膵臓のはなし〜膵がんを中心に〜」

※席数は100席に限られておりますので、満席の場合はご容赦ください

主催: 一般財団法人日本消化器病学会甲信越支部
問合せ先(事務局) 社会医療法人新潟臨港保健会 新潟臨港病院
〒950-8725 新潟県新潟市東区朝山町1-114-3 / TEL 025-288-7001

Bandai Topics

当院の整形外科で、ナビゲーションシステムを活用した手術が2025年4月末時点で1,700件を突破しました。また、2024年7月に先端テクノロジーのロボティックアーム支援手術「Makoシステム」を導入し、2025年6月末時点で手術件数100件を超えております。

このシステムは、術中に医師が操作し、傷んだ骨を削るために使われます。術前計画のとおり治療を行うことが今まで以上に期待できるようになり、術後の痛みを減らすとともに動作制限の緩和にも期待できます。今後も安心安全な手術に努めます。



写真提供: 日本ストライカー株式会社

病院のお仕事をウォッチング!! 職場紹介シリーズ vol.3

新潟臨港病院 リハビリテーション科



新潟臨港病院リハビリテーション科は、「地域に根ざした質の高いリハビリテーションの提供」を理念に、PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)の3職種で、整形外科や呼吸器の急性期の患者様を中心に、回復期～慢性期の様々な疾患に対し、リハビリテーションを行っています。在籍しているスタッフは、常に新しい知識や技術を学び続け、患者様の治療に還元できるよう日々研鑽を重ねています。呼吸リハビリと腎臓リハビリでは、より専門性の高いスタッフが居り、市民公開講座や研修会で講師を依頼されるなど、院外でも活躍しています。職場の雰囲気は明るく、スタッフ同士の仲が良いのも大きな魅力です。患者様の治療では、医師や看護師、他部門のコメディカルスタッフとの連携を大切に、チーム医療のもと、早期回復と生活の質向上について支援させていただきます。



新潟万代病院 リハビリテーション科

新潟万代病院リハビリテーション科は当院2階にリハビリテーション室を2室設け、整形外科疾患の運動器リハビリテーションを中心に入院と外来のリハビリテーションを行っています。関節再建センターと連携し変形性股関節症、変形性膝関節症、寛骨臼形成不全、下肢骨折等で手術(THA、TKA、CPO、ORIF等)された方の術後リハビリテーションや腰椎圧迫骨折などのリハビリテーションを多く実施しています。

2025年1月からの地域包括医療病棟への転換に伴い、入院リハビリテーションの365日リハを開始しました。1年中休みなく提供できることから必要に応じて術前や術後早期、連日のリハビリテーションなど今まで以上にきめ細かいリハビリテーションの提供が可能となりました。病棟には専従の療法士を2名配置しリハビリ、栄養、口腔を踏まえた多職種連携による早期アプローチにより早期退院を目指しています。

また、外来リハビリテーションは入院リハビリテーションからのフォローだけでなく、必要に応じて整形外科疾患等の新規外来リハビリテーションも行っていますので、主治医や整形外科医師にご相談ください。



連携 登録医の 紹介

地域を支える
医療・福祉施設を
ご紹介します

私がお話を聞きました！

新潟
臨港病院

医療連携室
室長
松原 陽子

新潟
万代病院

地域連携室
社会福祉士
大泉 瑠理子

CLINIC No.
09

こん整形外科 クリニック

整形外科

院長 近 良明 先生



高齢化が進む現代社会において、整形外科医の果たす役割はますます重要になっています。

当クリニックでは、地域の皆さまや県内外各地からお越しになるアスリートが、けがや障害を乗り越え、健やかな日常を取り戻せるようサポートしております。

「痛みの緩和」と「体のリラクゼーション」を目的とし、広々としたリハビリ室には理学療法士が10名在籍。専門的かつ丁寧なリハビリを提供しております。

また、併設のメディカルフィットネスは、身体機能の維持や再発予防を目的とした運動プログラムも充実、スポーツ障害にも対応し競技復帰に向けたコンディショニングにも力を入れております。身体の不調やけがでお困りの際は、お気軽にご相談ください。



〒950-0914
新潟市中央区紫竹山2丁目4-30
TEL: 025-241-0123
診療時間… 9:00~12:00
15:00~19:00
休 診 日… 木曜日午後、
土曜日午後、
日曜・祝祭日

新潟臨港病院インスタグラム



CLINIC No.
10

びとく整形外科 クリニック

整形外科

院長 高橋 美德 先生



谷澤整形外科クリニックを継承して、『びとく整形外科クリニック』として2021年4月に開院いたしました。これまで通院して頂いた患者さんをはじめ、地元の方々の地域医療に貢献していく所存です。

人生100年時代を迎え、首・腰・膝の“ロコモティブシンドローム”対策はもちろん、患者さんとご家族の生活環境や背景を丁寧に把握し、一人ひとりに最適なりハビリテーションや生活指導でいつまでもお元気に過ごしていただけるようサポートいたします。

これからも地域の皆様の健やかな毎日を支える拠り所となるべく、真心を込めて診療にあたります。どうぞお気軽にご相談ください。



〒951-8067
新潟市中央区本町通6番町1134
TEL: 025-225-6077
診療時間… 9:00 ~ 12:30
14:30 ~ 17:30
※木曜・土曜日は12:30まで
休 診 日… 木曜日午後、
土曜日午後、
日曜・祝日

新潟万代病院エックス



株式会社アイン北陸
所在地 : 〒950-1151 新潟市中央区湖南24-2
電話番号 : 025-288-0228 (代表)

オフィシャルウェブサイト www.ainj.co.jp



公式アプリ「いつでもアイン薬局」から、処方箋を送信できます！
今すぐアプリをダウンロード！

Google Play、App Storeで

いつでもアイン薬局 を検索

Android™用



Android OS
バージョン6.0以上

iPhone®用



iOS
バージョン12.0以上

